

## 「がん」について勉強しました

10月22日（火）、2年生対象に「がん」という病気について勉強しました。

事前学習として、「明日もまた生きていこう」という横山友美佳さんの手記を資料に、道徳の授業を行いました。病気と闘う友美佳さんの想いから、健康のすばらしさや、目標をもって生きることの大切さを感じ、命の尊さについて考えを深めました。



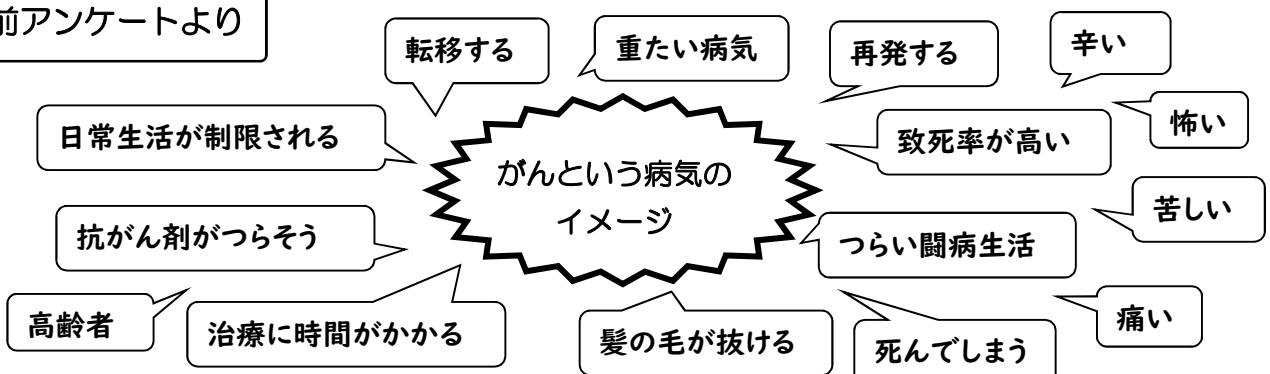
当日は、星薬科大学教授・東京大学医学部附属病院で診療をしている野村幸世先生をお迎えして、「がんを知り、よりよく生きていくために」というお話をさせていただきました。講師の先生のわかりやすいスライドと説明で、みんな真剣に取り組んでいました。正しい知識を得ることで、不安が解消されたり、気を付けないといけないことや検診の大切さを家族に訴えたいなどの気持ちが出てきたりしたようです。HPVワクチンのお話を聞いて、接種する人もいました。



講演会の直前と直後に、アンケートや感想で、振り返りを行いました。また、大切な人にごがん検診を受けてもらうよう、メッセージカードを書きました。それぞれ一生懸命に考え、これからの生活を考える良いきっかけになったようです。みんな素晴らしい意見を書きましたので、以下に紹介します。

「がん」という重いテーマでしたが、講師の先生をお迎えしての講演は大変勉強になり、これからの人生に深くかかわっていくものと思います。

### 事前アンケートより



## 講演会でのお話

### <がんという病気について>

健康な体がどうなることをがんというのだろう。  
がんの原因は何だろう。  
がんになる危険性を減らすことはできるのだろうか。

### <日本のがんの状況>

日本人はどれくらいの方ががんになっているのだろう。

### <がんの発生と進行>

がんは体のどこにできるのだろう。  
がんはどのように進行するのだろう。

### <がんの予防>

がんにならないためにできることは何だろう。  
子宮頸がんワクチンって何だろう。  
あなたの大切な人が、がんにならないためのメッセージを考えよう。

### <検診の意味>

なぜ検診を受けなければならないのだろう。  
あなたの大切な人にごがん検診をすすめるキーワードを考えよう。

### <がんの治療で大切なこと>

がんはどのように治すのだろう。  
治療法を決めるとき大切なことは何だろう。

### <がん治療の支援>

がん治療にはどのような支援が必要なのだろう。  
なぜ緩和ケアが必要なのだろう。

### <がん患者の思い>

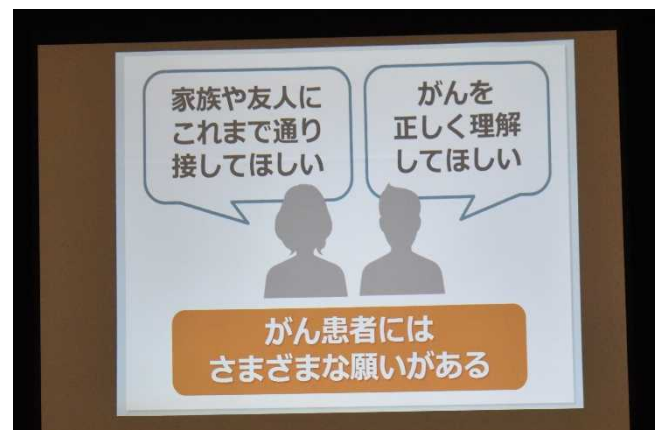
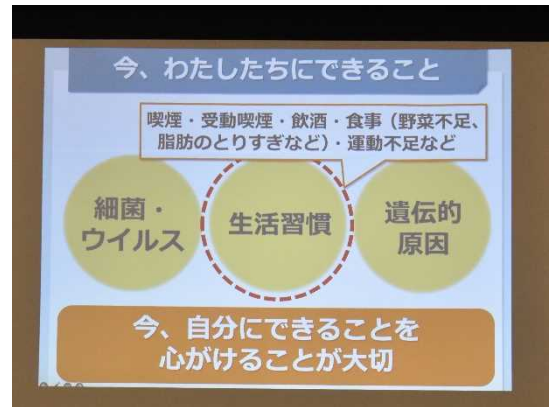
がん患者は何を望み、何を求めているのだろう。

### <がん患者とともに生きる社会>

がん患者とどのように接すればよいのだろう。  
がん患者が暮らしやすい社会とはどのような社会だろう。

### <生物はみな死ぬ話>

ホスピス、緩和ケア病院。  
どうしたらみんなが幸せになれるだろう。



## 事後アンケートより

・親や祖父母に検診を勧める。生活習慣に気をつける。  
たばこは受動喫煙でもがんになるから、自分も周りの人も守るために絶対に吸わないようにする。ワクチンを受ける。もし病気になったら緩和ケアなど、心のケアをしてくれるところへつないであげる。行ってみる。



・私は HPV ワクチンを受けたことがなかったけれど、今回お話を聞いて早く自分もワクチンを受けべきだと思った。また、親にも今回のことを話して、がん検診を受けてほしい。たばこ、お酒を控えてほしいと思った。

・今日は帰ってお父さんとお母さんにがん検診を勧めようと思った。自分も子宮がん検診など、検診に行ったら何かあったら早期発見できるようにしたい。

・僕のおじさんは、たばこをたくさん吸っていて、「別にたばこを吸って病気になっても大丈夫」と言っています。自分が大丈夫でも、周りの人のことを考えてほしいと言った方がいいかなと思います。健康で長生きしたいです。

・いま私たちにできることは、生活習慣を改めること。

・正しい生活を行う。今を一生懸命生きる。



・いつがんになるかわからないから、かかる前から検診を受けて、栄養バランスの良いごはんや適度な運動をするなど、今の自分が未来の自分にできることを見つけて行動していく。また自分だけではなく、周りの人ががんになったら、がんのことを正しく理解した上で支えてあげる。

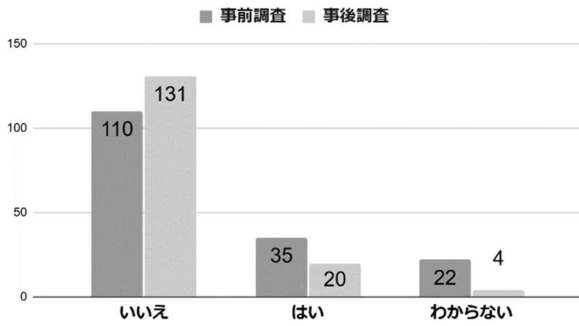
・ワクチンを打つとがんになる確率がすごく低下することを知り、打ってみようと思いました。

・50歳前後からがんになりやすいと知ったので、親には症状がなくても検診を受けるように勧めたいと思いました。ワクチンを打つことで、子宮頸がんの発症率が下がるので打とうと思いました。

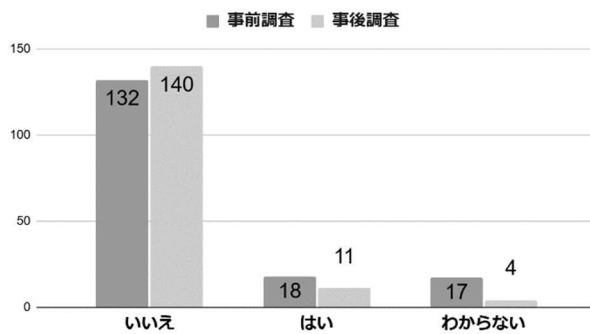


## 事前アンケートと事後アンケートの比較

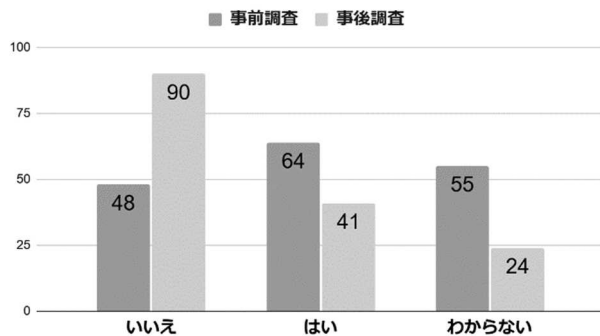
(1) 「がん」は、特定の人がかかる病気である。



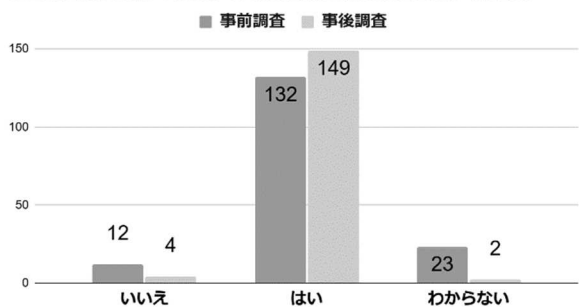
(3) 「がん」は、必ず死に至る病気である。



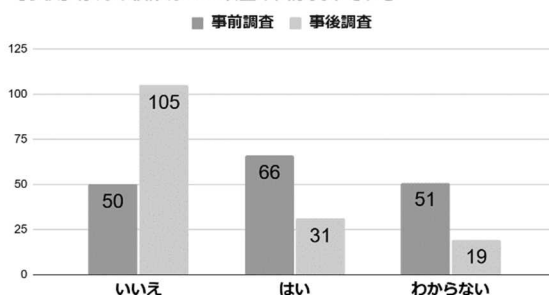
(5) 「がん」になったら、学校や仕事に行くことができない。



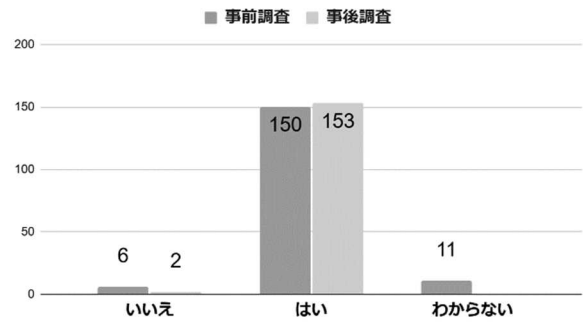
(7) 【事前】生活習慣が悪いと「がん」にかかる。【事後】望ましい生活習慣により「がん」になる危険性を減らすことができる。



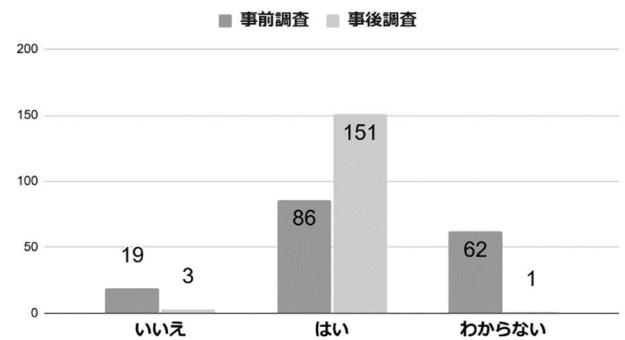
(9) 【事前】健康診断は、3年に1回行くとうよい。【事後】がんの検診は50%以上の人が受けている



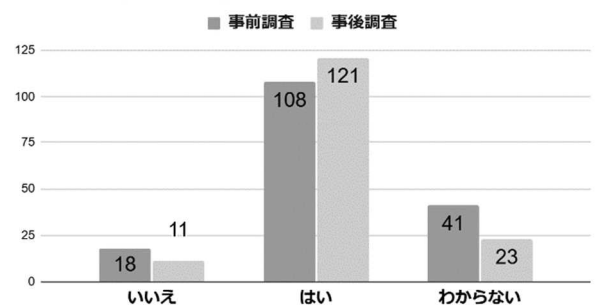
(2) 「がん」は、誰でもかかる身近な病気である。



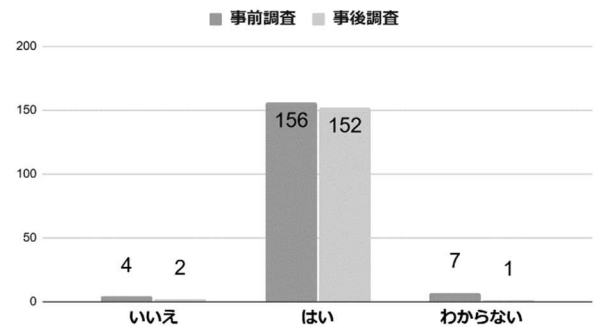
(4) 日本人の2人に1人は、「がん」にかかる。



(6) 【事前】「がん」は、とても痛みが伴う病気である。【事後】「がん」の痛みを和らげる方法がある。



(8) たばこを吸うと、「がん」にかかる可能性が高くなる。



(10) 「がん」の治療方法は、手術だけである。

